

ひらめきウォーク 久しぶりにサントリービール工場に行きましょう

日時：2023年8月7日（月） 天候：晴 一般 歩数：18000歩 距離：11km

集合：小田急多摩線小田急永山駅

コース：小田急永山駅→諏訪第四公園～電車見橋→多摩東公園→元気橋→桜ヶ丘公園→大谷戸公園→春日神社→乞田川新大栗橋→大河原公園→多摩川関戸橋→中河原公園→第三都市遊歩道→府中市郷土の森公園→蓮池→ふるさと通り→サントリー武蔵野ビール工場（バス）→分倍河原駅

参加者：熊坂 L 平嶋 五十嵐志 平石 高橋文 小野里 熊島 渡辺 小林 山内 清水 市村 小田 奥村 吉岡 鹿島 高橋吉 佐田 18人

立秋前日8月7日のウォーキングです。2日から5日まで連日35℃超えの真夏日でしたが、6日から少し気温が下がりはじめて「ウォーキング日和」となりました。昭和の時代に開発された多摩ニュータウン一角、多摩市の丘陵地帯の少しアップダウンがある緑地公園をハシゴして、多摩川を渡りサントリー武蔵野ビール工場の生ビールをめざすウォーキングです。

神奈川ウォーキングクラブホームページに「ウォーキングコース提案」欄があります。6月末、「6～7年前に、熊坂さんがリーダーで行ったサントリー武蔵野ビール工場見学に都合がつかず参加できなかったので、この夏に企画して欲しい」と書きこみました。そうしましたら熊坂さんがコース企画をして、8月見学予約受付日の7月3日に電話かけ78回目で8月7日の予約をとってくれました。感謝です。はてさてどんな「ひらめきウォーク 久しぶりにサントリービール工場に行きましょう」になったのでしょうか。



永山駅～雨上がり幸先の良いスタート～高台～諏訪第四公園～電車見橋

永山駅に集合してしばらくすると雨が音をたてて降ってきました。しかし遠くの空は明るく、「予報はお昼ごろに雨がパラつく程度だったけれど」などと話していると雨が上がりました。少し涼も感じられる幸先の良いスタートです。通行人が少ないスペースで熊坂リーダーがコース説明。駅前ショッピング街を抜けるといきなりの階段上り、北諏訪小学校や彫刻作品が目を引く多摩児童相談所がある高台を歩き、石段を下って諏訪第四公園へ。ストレッチと水分補給をして小田急の線路沿いを歩いて行くと電車見橋へ出ました。



小田急線京王線電車見橋～多摩東公園～元気橋～東屋～都立桜ヶ丘公園

小田急線と京王線が並行して走っている電車見橋橋上で電車が来るのを待ちます。「電車見橋」、子どもが電車が来るのを楽しんでいるような響きのある名前です。最初に現れたのは永山駅を発車して来た京王線の上り電車、続いて小田急線の上り電車が通りトンネルに入って行きました。橋を渡り切ったところが多摩東公園、水分補給をして小休憩。幹線道路の上に架かる公園を結ぶ元気橋を渡ります。「元気を出して～」の声、でも少々疲れ気味。緑地を20分ほど歩いて、聖ヶ丘緑地の東屋で再び水分補給の小休憩。小野里さん、小林さん、平嶋さん、少しキュウクツそうですね。高台を結ぶ橋の下を通り都立桜ヶ丘公園に入りました。



緑の木陰で昼食タイム 13時5分～土の感触が心地よい小川辺の道

緑に覆われた広大な桜ヶ丘公園の東屋などがある中央付近まで進み、グループに分かれてベンチがある緑の木陰で昼食をとりました。12時5分、午後のスタートです。少し下って土の感触が心地よい小川辺の道を歩いて行くと4人ほどが望遠レンズを構えてカワセミの飛来を待っていました。私たちは「何時間もよく待っているね」と思い、あちらは「暑いのによく歩くね」と思っているのでしょうか、楽しみ方色々ですね。



桜ヶ丘公園～大谷戸公園～青い空に白いモクモク雲～春日通り～春日神社

ときおり吹く風が気持ち良い桜ヶ丘公園を歩き、大谷戸公園へ入りました。進行方向の空に雲、小田さんが「あのモクモク雲、夏の雲ね」、青い空に白いモクモク雲が沸き上がっていて夏を実感。住宅街の春日通りを歩き、参道の石段を上って春日神社へ。本殿の日陰や大きな櫻の木の下で水分補給と小休憩です。



乞田川 新大栗橋バス停～大河原公園～多摩川 関戸橋～中河原公園

春日神社を出て多摩川支流の乞田川に架かる新大栗橋へ、橋上に新大栗橋バス停がありました。乞田川、聞き覚えのある名です。2017年4月8日の「からきだの道と公園を巡る緑の小径」でここより上流を歩いていました。この年は桜の開花が遅かったのか、乞田川沿いの桜が満開でした。川崎街道を横切り、大河原公園へ入り水分補給と小休憩。鮮やかなピンクの花が咲いていて、小野里さんが「真夏の花のサルスベリだよ」と教えてくれました。多摩川に架かる関戸橋へ、『多摩川を歩く』ではどちら側の河川敷を歩いたのかなどと話しながら府中市へ。中河原公園に入り小休憩、昔の関戸橋欄干のモニュメントがありました。



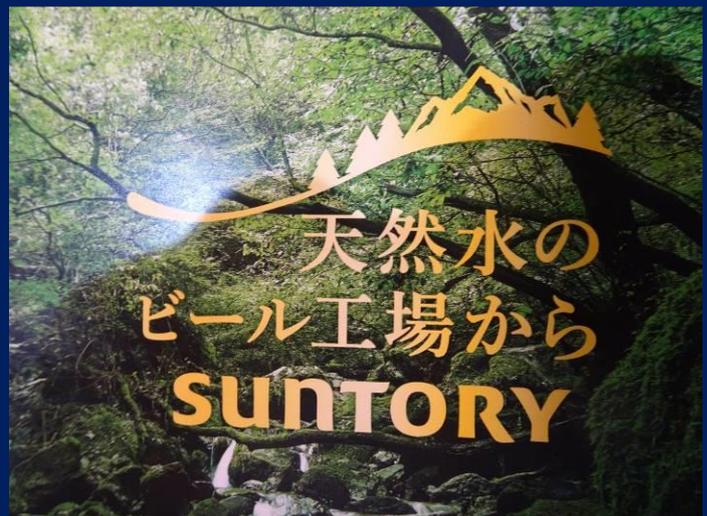
第三都市遊歩道～広大な府中市郷土の森公園 蓮池 東屋 クールダウン

時刻は13時5分、多摩川左岸沿いの第三都市遊歩道を下流方向へ歩きます。少し雨がパラつき、涼しい風が吹いてきました。ほぼ直線の遊歩道を30分ほど歩いて終点。一般道を歩き13時丁度に広大な府中市郷土の森へ、公園一角の府中市郷土の森観光物産館へ行ったのですがあいにくの休館日でした。気を取り直して公園敷地内を進み蓮池をめざします。鉄筋コンクリート造りの柱と屋根だけですのでこれも東屋と呼ぶのでしょうか、その下で蓮の花を眺めながら小休憩。池から吹いてくる風が、疲れを少し癒してくれます。あとはサントリー工場をめざして歩くだけです。ということで、ここで一足早くクールダウンをしました。



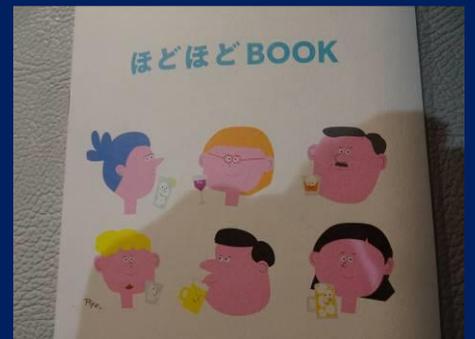
交通遊園～ふるさと通り～14時30分 サントリー武蔵野ビール工場

蒸気機関車やバスなどが展示されている交通遊園の前を通り、郷土の森公園を出ます。一般道のふるさと通りを北方向へ歩いて行くと、左手に「いらっしやいませ一般のお客様も歓迎です」と書かれた看板が出ている府中市場がありました。その先に「御茶屋街道」の標柱があり、「この道が府中御殿の茶の湯の水を多摩川より運ぶ小道だったことに由来する」と刻まれていました。14時30分、サントリー武蔵野ビール工場に到着。見学は15時15分からののでまだ時間があります。受付ロビーで涼を取りながら配付されたパンフレット読んだり、売店コーナーで缶ビールやコップなどのお土産品を見てまわりました。



工場見学～生ビール三杯試飲～分倍河原駅 歩数1万8000歩 夏満喫

15時15分、工場見学スタートです。私たち以外にも数人のグループが一緒です。まずは映像によってサントリーの歴史、最初はウスキー製造でビールは1963年から製造を始めたことなどの説明を受けました。素材選びのコーナーではホップを食味してみました。仕込、発酵、貯酒、ろ過工程をガラス越しに見学。撮影が許可されたパッケージ工程で写真を1枚撮りました。待望の試飲コーナーへ、生ビールは3種類あり、一杯目はプレミアムモルツであとの二杯はお好みでということです。泡越しの生ビールの美味しかったこと。試飲時間は15分余、三杯飲み切った人が多かったようですが、飲み切れなかった人もいました。お土産に3本セットビールとグラスを購入。サントリーのバスに乗って分倍河原駅に17時前に到着、駅前広場に「旧甲州街道を歩く」のときに見学した新田義貞公像がありました。/汗をかいて1万8000歩のウォーキング、夏の雲と花、メは生ビール、夏満喫しました。



(いちむら記)